





⑥現状及び課題	<p>○対象エリアの高塚緑地は面積約 257,700 m<sup>2</sup>で三河湾国定公園に指定されており、その内「野外教育センター」は約 130,000 m<sup>2</sup>の都市公園となっている。</p> <p>○現在、本館（昭和 44 年完成）及び集会室（昭和 47 年完成）の施設がある。</p>
⑦前提条件 ※事業化にあたって事業者 に考慮してほしい事項等を簡 潔にご記入ください	<p>○観光公園としての整備を検討しているため、市民はもちろんのこと、市外（特に名古屋・静岡エリア）の観光客もターゲットとしたい。</p> <p>○年齢・性別などのターゲットは、本市の観光収益の最大化となるターゲットを指定していただきたい。</p> <p>○野外教育センターの 130,000 m<sup>2</sup>のうち、①民間事業者の事業実施エリアと②市で整備・管理する公園エリアと③使用しないエリアを分け、①及び②を新たな公園として運営していく。</p>
⑧事業スケジュール（予定）	<p>&lt;最速スケジュール&gt;</p> <p>令和 5 年度 サウンディング、募集要項作成</p> <p>令和 6 年度 募集・選定</p> <p>令和 7 年度 着工</p> <p>令和 7 年度～供用開始</p>
<b>（2）対象地</b>	
①所在地（交通情報含む）	愛知県豊橋市伊古部町字枇杷ヶ谷 57-12
②敷地面積	129,680.28 m <sup>2</sup>
③土地利用上の制約	国定公園（第 2 種特別地域、本館北斜面の途中から南側は普通地域）、都市計画公園、市街化調整区域
④所有者	市
⑤周辺施設等	1km 圏内に、少年自然の家
⑥対象地周辺の環境	<p>本施設は浜名湖から伊良湖岬まで東西に約 50km 砂浜が続く太平洋岸に面しています。また周辺は日本有数の農業産地となっています。一般的には自然と農業が盛んなエリアのイメージが強いです。令和元年に国道 23 号線沿いに年間 200 万人が訪れる道の駅とよはしが開駅し、観光拠点を目指し事業を開始した。令和 6 年度に国道 23 号線が名古屋まで開通することで、名古屋圏内からの誘客を目指し、観光プロモーションに力を入れている</p>
⑦その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）	<p>施設名称：野外教育センター</p> <p>施設の延べ床面積：2,039.86 m<sup>2</sup></p> <p>建物の構成：本館、RC 造、地上 2 階。集会所、S 造</p> <p>主な施設の内容：本館、集会所</p> <p>運営状況：設置・管理・運営 市</p>

■ 添付資料

- 野外教育センター施設基本情報（添付 P1、P2）
- 施設敷地の要件（添付 P3）
- 周辺地図（添付 P4）
- 野外教育センター写真（添付 P5、P6、P7）
- 野外教育センター主な設備（添付 P8）
- 野外教育センター見取り図（添付 P9）